

7月3日(日)



茹でタコ

茹でたてはひと味違う

自家製

100g

398円(税込)

☎0824-72-5246

西田鮮魚店
ジョイフル

専用番号 ☎090-7125-5489
御用聞き便 (旧庄原市内はご自宅に配達)

タコを見たら思い出すんです！あれは、僕が西田鮮魚店に入ってから数ヶ月した時でした。朝一番店長に「今日はタコを湯掻くぞ!!」と言われ、初めての作業に緊張しながらも指導を受けつつ、茹でタコ作りに挑戦したのです。その頃は茹で加減など分からず、失敗も少なからず...。初めて上手に出来た時に、店長や他の従業員が「今日のタコは美味しいやないか、誰が作ったん」と言われ、嬉しくて自信満々のドヤ顔で「僕です!」と言った事を今でも覚えています！
そして西浦家では、茹でタコでたこ焼きパーティーをするんです！これがまた弟が「お兄ちゃん作った茹でタコで作るたこ焼きは美味しい!!」って笑顔で言ってくるんです！めっちゃ嬉しくて、もっともっと勉強してもっと美味しくしたいと思っています!!
いやー、茹でタコ最高!!
今回は、地物のタコを茹でております！
西浦家も今夜は茹でタコで晩酌します!!弟の美味しいという笑顔が今日も見れるようにしっかりと朝から茹であげるぞー!!
是非、当店自家製の茹でタコをお買い求め食べてみてください！よろしくお願ひします！

西田鮮魚店 西浦 龍矢

今日は三日の市 露店

『むすびのむさしのおむすび弁当』 9時半販売開始

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

5月3日。『三日の市 露店』でお客さまに迷惑をおかけして申し訳なかった。もう一度販売する機会がほしい。そう、小森館長に話されたのは備北交通・未楽の三上さん。

100個もあれば十分だろうとの読みがみごとに外れ(失礼!)、おまけに、おむすび弁当の到着が2時間も早く、9時半の開店から30分そこで、完売。11時からの販売と思われていたお客さまから大ブーイング(これは私の書き方にも問題が…。申し訳ありませんでした)。というところで、今日、7月の『三日の市 露店』でもう一度、販売させていただくことに。もちろん9時半からの販売です。これは、私の予測だが、たぶん、お昼までに…。せっかくの『むすびのむさし』。どこで食べる? 私のおすめは次のとおり。

- ①ふらり ②倉ちゃんテント村 ③芸備線車両 ④プリンセスガーデン ⑤上野池 ⑥自宅。
- ピクニック気分、お祭り気分を味わっていただきたい。もつとも、真夏日だったら暑いよな。
- で、私の予想は次のとおり。
- ①自宅。②倉ちゃんテント村 ③プリンセスガーデン ④ふらり ⑤芸備線車両 ⑥上野池
- 余計なおせっかいでした。どこでもおいしい『むすびのむさし』を堪能して下さい。

私は知りませんでした。勝光山鋳業所で入浴剤を開発、販売されてるなんて。

商品の名前は『SALCLAY(ソルクレイ)』。クレイは「泥」とか「粉」とかという意味だとか。そうか、勝光山で鋳石を採掘、加工する時に出るんだろう。そのクレイとヒマラヤ岩塩を合わせて作られたのがソルクレイ。ソルはソルト(SALT)で塩の意味なんだろう。それで『SALCLAY(ソルクレイ)』。たぶん、そうだろう。違う?

小森館長が愛用していると聞いた。彼女は、入浴剤としてだけでなく、濃いめに溶かして、泥パックとして使っているのだと、身振り手振りで説明してくれた。いいらしい。どこで知ったの? と聞くと、去年ジョイフルで開催した『庄原万博』に出店していただいていて、その時だとか。うか、美容とか自然派とかナチュラルとか、そういう言葉は、私の目には留まらない。人は、興味の無い情報は、素通りしてしまうものだと言ったことがある。

それはともかく、いいらしい。アマゾンでも買えるんですよと言っていたので調べると、ネットでも販売してないと言っていた。ネットが便利なのは知っているが、その手続きの途中で嫌になって止めることがある。アカウントとかパスワードだとか問われても覚えていないわけがない、イライラし始め、それでも我慢して打ち込むのだが、何をやっても「一致しない」とか表示されると、イライラが情けなさに変わり、ついには諦める。時代に付いていけない無力さに打ちひしがれて。

今日は、その必要がない。その場で買い求めて、すぐ使える。気に入れば、子供や孫の世話になってネットで買えばいい。そのうち慣れてくる(はず)。

今日の『三日の市 露店』が今までと違うのは『倉ちゃんのテント村』を新設したこと。

前回、『倉ちゃんのホルモン焼きそば』で焼きそばを販

売したときに、大きめのテントを買って焼き台の後ろにテントを張ったところ、けっこう、その場で召し上がっていただいた。すると、なんとなくお祭りらしくなった。とてもいい。「これだ!!」。私と倉本部長は目を見合わせた。7月はこれでいこう。私がハサミで切り裂いたところも、テープを貼って直してくれた。

やるなら賑やかにしよう。ということ、今まで屋内でやってもらっていた『辰家』にも、黄色い車と虎が目印のキッチンカーでテント村の一角を占めてもらうことにした。県北おなじみの『ノーサ・ピッツア号』。広島からの『揚げたこやきの39クック』。

そして、前回も来てもらった『世羅きのこ園』。今日は、あの『松きのこの天ぷらの実演販売』をするそう。松茸の香りといった旨みをもつスーパードライのこの天ぷら。楽しみだ。

世羅からは『せらワインナリー』も来てもらった。この前、山のめざめ「シャルドネ」をいただいた。やっぱり夏は冷えた白ワイン。こちらは、家で飲んでいただきたい。松きのこをアテにして。天ぷらと白ワイン。合うんだこれが。庄原警察署の前の交差点の角にある『CAFÉ CROUD(カフェ クラウド)』も初出店。聞けば、駅の近くの『庄原バル』の姉妹店だとか。県大卒業生の店長さんらしい。応援しなくては。

『BUYひろしま BUYマツダ 庄原郷心会』からもマツダ車の展示がある。このところ、新車の納期が長くて、中古車市場が賑わっていると聞く。その辺、ちょっと聞いてみたい。

さて、テント村という以上、村長がいる。ここは、理事長権限で倉本部長を任命しよう。もちろん、無給だが。顔のイラストまで付いているのだから、よもや、文句は言うまい。

この顔のイラストは、倉本部長のお嬢さんの作品。最初、本部長の森さんが描いたものを使っていたのだが、お嬢さんが、こんなハンサムじゃあないと描き直してくれた。バカ受け。似とる。特徴をつかんどる。さすがは親子じゃ。

もちろん、倉ちゃんの焼きそばも焼く、今回はホルモンではなくオーソドックスに豚バラ、400食焼くと張り切っている。そしてイカ焼きも…。

倉ちゃんテント村でお召し上がりください。

「倉ちゃんテント村」



イラスト/ TOMO